

令和 7 年度 事務事業マネジメントシート

作成日 令和 7 年 7 月 1 日作成

事務事業名		指定文化財等維持管理事業		担当課	生涯学習課					(3)指標の推移		4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度		
				担当G	文化財管理G					活動指標（実施状況）	単位	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)		
				予算科目	会計	款	項	目	備考			(実績)	(実績)	(実績)					
まちづくりプラン （基本目標）		振興計画体系	5	<教育・文化>心豊かで志あふれる人づくりと伝統・文化のまち		1	10	4	6		ア	申請件数	件	2 2	2 2	2 1	3		
(個別目標)		3		文化を守り・育み・つなげるまち	主な費目	役務費、委託料、負担金補助及び交付金					イ	補助金交付件数	件	2 2	2 2	2 1	3		
(施策)		2		伝統文化の保存・継承及び歴史遺産の保存・活用	対象	歴史遺産					成果指標（成果・効果）		単位	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)
																			(実績)
(基本目標)		総合戦略	4	魅力的で、安心して暮らせるまちをつくる							ア	直接維持管理を行う指定文化財数	件	26 30	30 31	31 31	31		
(施策)		5		観光パワーアッププロジェクト	事業期間	平成17 年度～ 年度（ 年間）					イ	個人及び団体所有の指定文化財数/指定文化財	件	0.69 0.73	0.73 0.72	0.72 0.72	0.72		
(1) 総事業費の推移				単位	4年度 (実績・決算)	5年度 (実績・決算)	6年度 (実績・決算)	7年度 (計画・予算)	8年度 (計画・予算)	9年度 (計画・予算)	(4) 評価		所管課による評価						
年間 トータル コスト	事業費	財源内訳	国県支出金	千円							有効性 評価	・市民のニーズ ・事業の効果 ・政策との整合性 ・事業を廃止の影響 ・類似事業との連携 ・公平性	・貴重な歴史遺産である文化財を保護することで、地域の宝である文化財を次世代に継承できる。 ・文化財指定により所有者のみのものではなく、地域の宝としての価値を持つことから、経済的支援が必要である。						
		その他特定財源	千円																
		一般財源	千円	3,168	4,879	3,843	5,396	5,482	5,482										
		事業費計 (A)	千円	3,168	4,879	3,843	5,396	5,482	5,482										
		所要人員 (年間)	人	1.000	1.000	1.000	1.000	1.000	1.000										
		人件費概算 (B)	千円	5,600	5,600	5,600	5,600	5,600	5,600										
(A) + (B)				千円	8,768	10,479	9,443	10,996	11,082	11,082									
(2) 事業概要																			
事業目的	貴重な歴史遺産を保護することで、地域の宝である文化財を次世代へ継承する。																		
事業内容	・歴史遺産を適正な状態で公開出来るように、年間を通じての点検及び維持作業、修復・修繕業務を実施する。 ・個人及び団体が所有する国・県・市の指定文化財等の修繕など、維持管理に係る経費の4分の3を市単独補助金として交付する。R6年度から県指定建造物「旧東郷医院」の県補助事業が実施され、市の補助が生じている。																		
開始経緯	・指定文化財の維持管理は、文化財保護法に基づき、昭和25年より開始した。 ・平成20年から指定文化財等保護事業補助金として、個人、団体所有の指定文化財の維持管理費用の負担軽減を図るため、本事業を創設した。																		
実施状況	・志布志城(内城)跡・志布志麓庭園・市内指定文化財等維持管理業務 ・鳥濱氏庭園・清水氏庭園維持管理補助金 ・宝満寺跡ほか指定文化財等の維持管理																		
成果	・歴史遺産を適正な状態で公開出来るように、年間を通じての点検及び維持作業、修復・修繕業務を実施した。 ・個人及び団体が所有する国・県・市の指定文化財等の修繕など、維持管理に係る経費の4分の3を市単独の補助金として交付した。																		
課題	・国指定の文化財については、適切に管理されているが、その他の文化財については十分とはいえない。 ・指定文化財の所有者からは、補助金の増額の要望がある。																		
												改革改善案							
												拡充	○	現状維持	改善	効率化	廃止終了		

令和 7 年度 事務事業マネジメントシート

作成日 令和 7 年 7 月 1 日作成

事務事業名		志布志麓庭園整備事業					担当課		生涯学習課		(3)指標の推移		4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度					
							担当G		文化財管理G		活動指標（実施状況）		単位	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)				
							会計	款	項	目	備考		(実績)	(実績)	(実績)								
まちづくりプラン（基本目標）		振興計画体系	5	＜教育・文化＞心豊かで志あふれる人づくりと伝統・文化のまち					予算科目	1	10	4	6				1						
(個別目標)		3	文化を守り・育み・つなげるまち					主な費目	需用費、報償費、旅費、委託料、工事請負費、補助金														
(施策)		2	伝統文化の保存・継承及び歴史遺産の保存・活用					対象	国指定名勝					成果指標（成果・効果）		単位	(目標)	(目標)	(目標)				
		4	魅力的で、安心して暮らせるまちをつくる											(実績) <th>(実績)</th> <th>(実績)</th> <th>(実績)</th> <th>(目標)</th> <th>(目標)</th> <th>(目標)</th>	(実績)	(実績)	(実績)	(目標)	(目標)	(目標)			
(基本目標)		総合戦略	4						事業期間	平成21年度～年度（ 年間）					適正な状態に整備された庭園数		箇所	1	1	2	2		
(施策)		5	観光パワーアッププロジェクト					(実績)															
(1)総事業費の推移			単位	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度	(4)評価		所管課による評価											
年間トータルコスト	事業費	財源内訳	国県支出金	千円	40,712	24,626	11,048	13,572	15,000	有効性評価	・市民のニーズ ・事業の効果 ・政策との整合性 ・事業を廃止の影響 ・類似事業との連携 ・公平性	志布志麓庭園管理基本計画を策定したことにより、国の補助事業の導入で保存修理等ができる。											
		その他特定財源	千円				66,000																
		一般財源	千円	40,782	72,014	13,631	16,626	15,000															
		事業費計(A)	千円	81,494	96,640	24,679	96,198	30,000															
		所要人員(年間)	人	1.000	1.000	1.000	1.000	1.000															
		人件費概算(B)	千円	5,600	5,600	5,600	5,600	5,600															
		(A) + (B)	千円	87,094	102,240	30,279	101,798	35,600															
(2)事業概要																							
事業目的	国指定名勝志布志麓庭園(福山氏庭園・天水氏庭園・平山氏庭園)の保存・活用を図る。麓地区の武家屋敷、古民家等の再生を図り、観光まちづくりの資源とする。											効率性評価	・事業効果向上 ・事業費削減 ・事務の効率化 ・費用対効果 ・財政負担の必要性 ・関係者との連携	文化庁の指導を受けながら、国の補助事業を導入して整備している。国指定の文化財であり、国指定の3庭園は市が管理団体となっている。									
事業内容	国指定名勝の整備を計画的に進め、国指定名勝の活用・整備を図る。令和7年度は福山氏庭園の主屋以外の建物調査等を実施する。天水氏庭園をはじめ、市が所有する歴史的建造物の活用を推進し、歴史的建造物を利用して行う事業に対し、改修費の一部を助成する。																						
開始経緯	地域住民や観光ガイドから早急の整備要望があり、文化庁からも建造物の老朽化が著しい福山氏庭園主屋の早急な保存修理が求められている。											達成度評価	・数値目標 ・目指す状況 ・実現性 ・情勢、環境の変化 ・事業期間	志布志麓が令和元年度に日本遺産に認定された。志布志麓庭園である福山氏庭園は、志布志麓を代表する武家庭園であるため、保存修理が完了した主屋について令和6年度から積極的な公開・活用を実施している。									
実施状況	文化庁の指導を仰ぎながら、福山氏庭園主屋等保存修理等工事を実施し、志布志麓庭園整備検討委員会を開催する。福山氏庭園主屋は令和6年7月16日に開園式典を行い、一般公開を開始した。木下邸の保存活用に関する手法等を検討する。																						
成果	福山氏庭園主屋・庭門の保存修理を実施し、敷地内に新築便所を設置した。主庭園を旧来の姿に復旧するための修復剪定を実施し、アカマツ等の補植を行った。主屋等防災工事として、主屋の土壁補強による耐震対策工事等を行い、敷地内に私設消火栓(2基)を設置した。令和5年度で主屋の保存修理を完了し、令和6年度から主屋の公開活用を行う。											改革改善案	拡充		○	現状維持		改善		効率化		廃止終了	
課題	国指定文化財の文化財保存修理の方法は、国の基準を満たす工法が必要であり、事業費は高額となる。国庫補助を活用しながら、年次的な保存修理等工事を、文化庁の指導を仰ぎながら実施する必要がある。																						

作成日 令和 7 年 7 月 1 日作成

事務事業名		指定文化財活用事業		担当課	生涯学習課					(3)指標の推移		4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度					
				担当G	文化財管理G					活動指標（実施状況）	単位	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)					
				会計	款	項	目	備考	(実績)			(実績)	(実績)									
まちづくりプラン（基本目標）		振興計画体系	5	＜教育・文化＞心豊かで志あふれる人づくりと伝統・文化のまち		予算科目	1	10	4	6		ア	公開活用されている庭園数	件	5 5	5 5	5 4	5				
(個別目標)		振興計画体系	3	文化を守り・育み・つなげるまち		主な費目	報償費、旅費、印刷製本費、委託料					イ										
(施策)		振興計画体系	2	伝統文化の保存・継承及び歴史遺産の保存・活用		対象	文化財					成果指標（成果・効果）		単位	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)		
(基本目標)		総合戦略	4	魅力的で、安心して暮らせるまちをつくる								活用による庭園の来園者数（一般観光客を除く）	人	500 156	500 352	1,000 472	1,000	1,000	1,000			
(施策)		総合戦略	5	観光パワーアッププロジェクト		事業期間	平成18年度～ 年度（ 年間）					イ	福山氏庭園の来園者数（R6.7.12開園）	人	- -	- -	900 1,710	1,400	1,400	1,400		
(1)総事業費の推移		単位	4年度 (実績・決算)	5年度 (実績・決算)	6年度 (実績・決算)	7年度 (計画・予算)	8年度 (計画・予算)	9年度 (計画・予算)	(4)評価		所管課による評価											
年間トータルコスト	事業費 人件費	財源内訳	国県支出金	千円						有効性評価	・市民のニーズ ・事業の効果 ・政策との整合性 ・事業を廃止の影響 ・類似事業との連携 ・公平性	公共の財産である歴史遺産を周知公開することにより、文化財保護意識が高まり貴重な歴史遺産の保護につながる。指定の促進により貴重な歴史遺産を保護し、公開・活用が可能となる。										
		その他特定財源	千円	6,452																		
		一般財源	千円	1,247	319	1,195	1,905	1,297	1,297													
		事業費計（A）	千円	7,699	319	1,195	1,905	1,297	1,297													
		所要人員（年間）	人	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000													
		人件費概算（B）	千円	5,600	5,600	5,600	5,600	5,600	5,600													
		(A)＋(B)	千円	13,299	5,919	6,795	7,505	6,897	6,897													
(2)事業概要													効率性評価	・事業効果向上 ・事業費削減 ・事務の効率化 ・費用対効果 ・財政負担の必要性 ・関係者との連携	個人が所有する庭園に対して公開謝金を支出しており、公有化することで費用の削減が可能となり、市独自の活用も可能となる。							
事業目的	国指定及び国登録の志布志麓庭園の活用を推進することによって、歴史遺産を保護するとともに活用する。国県市指定文化財の活用、普及啓発を推進する。併せて国県市指定の促進を図る。志布志東部地区の歴史的建造物を活用し、観光まちづくりの推進、歴史的建造物の有効活用及び保護を図る。指定文化財である民俗芸能等の活用と周知を図る。																					
事業内容	国指定及び国登録の志布志麓庭園の活用策として、各庭園を所有者の協力によって公開し、公開の規模により、謝金を交付する。国県市指定文化財の活用、普及啓発を行う。文化財の国県市指定の促進を図る。民俗芸能等の発表の機会として、3年に1回の割合で民俗芸能大会を開催する。																					
開始経緯	貴重な歴史遺産である史跡・名勝・建造物等が、市民をはじめとした多くの人々に対して公開されることとなった。歴史遺産を公開活用することは、観光客の誘致等に効果がある。																					
実施状況	国指定・登録名勝の全面公開：平山氏庭園、鳥濱氏庭園、天水氏庭園 国指定・登録名勝の随時公開：福山氏庭園、清水氏庭園 国県市指定文化財の現地説明板設置																					
成果	志布志城跡を含めた、志布志麓を公開することで、観光入込客が増加している。令和4年度に国指定史跡志布志城跡の活用として、コロナ交付金を活用しCG動画を作成して公開した。																					
課題	文化財の活用を推進するにあたっては、適切な維持管理が必要である。公開している庭園の所有者が変わったため、今後の公開活用等について所有者との協議が必要である。																					

令和 7 年度 事務事業マネジメントシート

作成日 令和 7 年 7 月 1 日作成

事務事業名		山中氏邸保存活用整備事業		担当課	生涯学習課					(3)指標の推移		4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度		
				担当G	文化財管理G					活動指標（実施状況）	単位	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)		
					会計	款	項	目	備考			(実績)	(実績)	(実績)					
まちづくりプラン （基本目標）		振興	5	＜教育・文化＞心豊かで志あふれる人づくりと伝 統・文化のまち	予算科目	1	10	4	6		ア	山中氏邸企画展の開催回 数	回	3 1	3 3	3 0			
(個別目標)		計画	3	文化を守り・育み・つなげるまち	主な費目	修繕料、委託料、工事請負費					イ								
(施策)		体系	2	伝統文化の保存・継承及び歴史遺産の保存・活 用	対象	市指定建造物 山中氏邸					成果指標（成果・効果）		単位	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)
																	(実績)	(実績)	(実績)
(基本目標)		総合	4	魅力的で、安心して暮らせるまちをつくる	事業期間	平成17 年度～ 年度（ 年間）					ア	山中氏邸来場者数	人	600 250	600 550	600 0			
(施策)		戦略	5	観光パワーアッププロジェクト							イ								
(1) 総事業費の推移				単位	4年度 (実績・決算)	5年度 (実績・決算)	6年度 (実績・決算)	7年度 (計画・予算)	8年度 (計画・予算)	9年度 (計画・予算)	(4) 評価		所管課による評価						
年間 トータル コスト	事業費 内訳 人件費	財源	国県支出金	千円							有効性 評価	・ 市民のニーズ ・ 事業の効果 ・ 政策との整合性 ・ 事業を廃止の影響 ・ 類似事業との連携 ・ 公平性	志布志東部地区の「歴史遺産を活用した魅力ある観光まち づくり計画」において企画展等による活用が示され、志布 志駅と志布志麓との中間地点としての活用が期待される。						
		財源	その他特定財源	千円															
		財源	一般財源	千円	1,725	497	102	0	0	0									
		事業費計	(A)	千円	1,725	497	102	0	0	0									
		所要人員	(年間)	人	1.000	1.000	1.000	0.000	0.000	0.000									
		人件費概算	(B)	千円	5,600	5,600	5,600	0	0	0									
(A) + (B)				千円	7,325	6,097	5,702	0	0	0									
(2) 事業概要																			
事業 目的	市指定建造物であり、市内に唯一現存する白壁漆喰の商家である山中氏邸の保存・活用を図る。																		
事業 内容	志布志地区の旧市街の面影を伝える町屋地区の、歴史遺産である山中氏邸は、平成18年度に公有化され、平 成19年度には、主屋の整備のための基本設計業務を実施し、修理・復元の基本方針を決定した。また、商家 資料館活用検討委員会においては、4棟の建造物の活用策について検討を行い、平成25年度に活用計画を策 定した。志布志駅と志布志麓をつなぐ中間の施設として活用を行っていく。																		
必要 経緯	山中氏邸は市内で唯一現存する白壁漆喰の商家であり、大変貴重であるため、平成18年度に公有化した。																		
実施 状況	山中氏邸で企画展を開催するための環境整備として、企画展に合わせた維持管理を実施し、お釈迦まつり、 商店街イベント(七夕・節分)にあわせて企画展を実施してきた。 令和6年度から歴史的建造物の活用推進として、民間事業者による改修及び事業運営を行うことで保存活用 を図る。令和6年度に貸し付ける民間事業者を選定し、7年度の改修工事を経て8年度の開業を目指す。																		
成果	山中氏邸において、年3回程度の企画展及び公開を実施。 令和3年度にトイレ改修工事を実施し、主屋内のトイレが使用可能となった。 令和4年度は大雨による災害復旧として軒先等の修繕を実施した。 令和6年度に改修及び事業運営を行う民間事業者を選定した。																		
課題	・ 整備・活用を目的に公有化を行ったが、整備に関して推進が図られていないことに批判が寄せられてい る。 ・ 老朽化が進み、文化財保存のための修繕等が必要となっている。 ・ 整備推進のための財源確保が最重要課題である。																		

作成日 令和 7 年 7 月 1 日作成

事務事業名		志布志麓庭園公有化推進事業					担当課	生涯学習課					(3)指標の推移		4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度			
							担当G	文化財管理G					活動指標（実施状況）		単位	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)		
							会計	款	項	目	備考	(実績)				(実績)	(実績)						
まちづくりプラン（基本目標）		振興計画	5	＜教育・文化＞心豊かで志あふれる人づくりと伝統・文化のまち					予算科目	1	10	4	6										
(個別目標)		振興計画	3	文化を守り・育み・つなげるまち					主な費目	公有財産購入費													
(施策)		振興計画	2	伝統文化の保存・継承及び歴史遺産の保存・活用					対象	志布志麓庭園 平山氏庭園					成果指標（成果・効果）		単位	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)
(基本目標)		総合戦略	4	魅力的で、安心して暮らせるまちをつくる																			
(施策)		総合戦略	5	観光パワーアッププロジェクト					事業期間	年度～ 年度（ 年間）													
(1)総事業費の推移			単位	4年度 (実績・決算)	5年度 (実績・決算)	6年度 (実績・決算)	7年度 (計画・予算)	8年度 (計画・予算)	9年度 (計画・予算)	(4)評価		所管課による評価											
年間 トータル コスト	事業費 人件費	財源内訳	千円					16,000		有効性 評価	・市民のニーズ ・事業の効果 ・政策との整合性 ・事業を廃止の影響 ・類似事業との連携 ・公平性	公共の財産である歴史遺産を公有化することにより、整備活用を行うことで、市民の文化財保護意識が高まり貴重な歴史遺産の保護につながる。 志布志麓庭園は日本遺産の構成要素でもあり、志布志東部地区の歴史のまちづくりにおいて大きな役割を担うべき歴史遺産である。											
		その他特定財源	千円																				
		一般財源	千円	352				4,000															
		事業費計（A）	千円	352	0	0	0	20,000															
		所要人員（年間）	人	1,000	0,000	0,000	0,000	1,000															
		人件費概算（B）	千円	5,600	0	0	0	5,600															
			(A)＋(B)	千円	5,952	0	0	0	25,600														
(2)事業概要																							
事業目的	国指定名勝「志布志麓庭園」を構成する3庭園（福山氏庭園、平山氏庭園、天水氏庭園）について、保存管理計画に基づき整備の一環として公有化を図る。												効率性 評価	・事業効果向上 ・事業費削減 ・事務の効率化 ・費用対効果 ・財政負担の必要性 ・関係者との連携	国指定名勝を構成する庭園を公有化することで、単なる維持管理ではなく、直接的な整備活用を実施することが可能となる。								
事業内容	各庭園の不動産鑑定及び庭園の鑑定を実施し、購入額を算定する。土地所有者等の確認を行い、購入に向けて協議を行う。国指定文化財の公有化に係る補助事業を導入する。購入後の登記等を行う。																						
開始経緯	平成19年志布志麓庭園が国指定となり、平成22年度に志布志麓庭園保存管理計画を策定した。貴重な歴史遺産である志布志麓庭園を公有化することで、整備と活用をはかることができる。整備活用により、歴史遺産の保存がはかられ、市民をはじめとした多くの人々に対して公開することで観光客の誘致等に効果がある。												達成度 評価	・数値目標 ・目指す状況 ・実現性 ・情勢、環境の変化 ・事業期間	国指定名勝を構成する各庭園の公開活用を行い、観光客を誘致する。各庭園を周遊するような活用をはかり、日本遺産の構成要素である歴史遺産とも連携し、点ではなく面での活用を行う。有料の体験活動や土産物販売等により経済効果を得る。								
実施状況	・平成25年度福山氏庭園公有化 ・平成31年度（令和元年度）天水氏庭園公有化 ・令和4年度平山氏庭園土地鑑定評価及び庭園鑑定評価 ・地権者との協議を経て、令和6年度から国補助を導入した平山氏庭園の公有化を計画しているが、土地所有権の整理が未了のため未着手の状況である。																						
成果	・国指定名勝「志布志麓庭園」を構成する各庭園の公有化により、歴史遺産の整備と活用を進めることができる。 ・福山氏庭園の主屋及び庭園の保存修理を実施し、令和6年度に主屋の公開、体験事業等による活用を開始。												改革 改善案	拡充		○	現状維持	改善	効率化	廃止終了			
課題	・平山氏庭園に現存する建物は老朽化し風雨による破損等がみられ、令和6年度に倒壊した。安全及び景観のため、早急に公有化を進め対処する必要がある。平山氏庭園は本来、寺院庭園であるため、整備にあたっては寺院跡の調査等を実施し、寺院庭園としての整備を実施する必要がある。																						

令和 7 年度 事務事業マネジメントシート

作成日 令和 7 年 7 月 1 日作成

事務事業名		志布志城跡史跡公園保存整備事業		担当課	生涯学習課				(3)指標の推移		4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度
				担当G	文化財管理G				活動指標（実施状況）		単位	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標) (実績)
まちづくりプラン （基本目標）		振興計画体系	5	予算科目	会計	款	項	目	備考	ア 整備を行った場所	箇所	1 1	1 1	1 1	1 1	1 1
(個別目標)		振興計画体系	3	主な費目	委託料				イ							
(施策)		振興計画体系	2	対象	国指定史跡 志布志城跡（内城、松尾城）				成果指標（成果・効果）		単位	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標) (実績)
(基本目標)		総合戦略	4	事業期間	平成15 年度～ 年度（ 年間）				ア 志布志城跡見学者	人	2,500 3,100	3,000 3,900	3,000 4,200	3,000	3,000	3,000
(施策)		総合戦略	5					イ								
(1) 総事業費の推移		単位		4年度 (実績・決算)	5年度 (実績・決算)	6年度 (実績・決算)	7年度 (計画・予算)	8年度 (計画・予算)	9年度 (計画・予算)	(4) 評価		所管課による評価				
年間 トータル コスト	事業費	国県支出金	千円							有効性 評価	・ 市民のニーズ ・ 事業の効果 ・ 政策との整合性 ・ 事業を廃止の影響 ・ 類似事業との連携 ・ 公平性 保存整備を目的に発掘調査を実施することは、志布志城跡の歴史的価値を解明することになる。そのことが、志布志城跡が地域の貴重な文化財であるということの普及・啓発につながり、さらには、志布志城跡が後世へ保存・継承されることにもなる。					
	財源内訳	その他特定財源	千円													
	一般財源	千円	495	491	500	500	500									
	事業費計 (A)	千円	495	491	500	500	500									
	所要人員 (年間)	人	0.150	0.150	0.150	0.150	0.150									
	人件費概算 (B)	千円	840	840	840	840	840									
(A) + (B)		千円	1,335	1,331	1,340	1,340	1,340									
(2) 事業概要																
事業目的	南九州を代表する中世山城である志布志城跡を史跡公園として活用を図る。										効率性 評価	現在は、必要最小限の維持管理費で事業を行っている。				
事業内容	国指定史跡である志布志城跡について、史跡公園として活用を図るための整備を行う事業であるが、一時整備を休止しており、整備を再開するまで維持管理を行う。															
開始経緯	志布志城跡の保存整備が歴史のまちづくり事業のリーディングプロジェクトとして位置づけられ、本調査の調査成果に基づく史跡公園としての保存整備を行うこととなったため。										達成度 評価	・ 数値目標 ・ 目指す状況 ・ 実現性 ・ 情勢、環境の変化 ・ 事業期間 続日本100名城に選定されたことにより、日本全国から見学者が訪れるほど注目されており、早急な整備を求める声も聞かれるようになっている。				
実施状況	12月から3月の間に、内城跡の雑木伐採等業務委託を実施した。															
成果	内城跡の大野久尾の雑木等伐採・粉砕処理を3月に実施した。重機を使用したことにより、約3800㎡におよぶ広い面積の雑木等の処理を行うことができ、見学しやすくなった。										改革改善案	拡充 ○ 現状維持 改善 効率化 廃止終了				
課題	志布志城跡の活用のために史跡整備を実施する予定ではあるが、財政的な事由により維持管理のみ行っている。															

令和 7 年度 事務事業マネジメントシート

作成日 令和 7 年 7 月 1 日作成

事務事業名		考古資料管理調査研究事業（埋蔵文化財発掘調査事業）		担当課	生涯学習課					(3)指標の推移		4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度		
				担当G	文化財管理G					活動指標（実施状況）	単位	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)		
					会計	款	項	目	備考			(実績)	(実績)	(実績)					
まちづくりプラン（基本目標）		振興計画体系	5	＜教育・文化＞心豊かで志あふれる人づくりと伝統・文化のまち	予算科目	1	10	1	2		ア	整理作業員延べ人数	人	360 293	540 443	540 588	525	540	540
(個別目標)			3	文化を守り・育み・つなげるまち	主な費目	報酬、職員手当等					イ								
(施策)			2	伝統文化の保存・継承及び歴史遺産の保存・活用	対象	整理作業及び報告書作成が必要な考古資料					成果指標（成果・効果）		単位	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)
			4	魅力的で、安心して暮らせるまちをつくる							ア	新たに整理された考古資料数	箱	20 18	20 20	20 20	20	20	20
(基本目標)		総合戦略	5	観光パワーアッププロジェクト	事業期間	年度～年度（ 年間）					イ								
(1)総事業費の推移				単位	4年度 (実績・決算)	5年度 (実績・決算)	6年度 (実績・決算)	7年度 (計画・予算)	8年度 (計画・予算)	9年度 (計画・予算)	(4)評価		所管課による評価						
年間 トータル コスト	事業費 内訳 人件費	財源内訳	国県支出金	千円							有効性 評価	・市民のニーズ ・事業の効果 ・政策との整合性 ・事業を廃止の影響 ・類似事業との連携 ・公平性	発掘調査を実施した場合、出土遺物を整理して調査報告書を作成（記録保存）しなければならないが、これは文化財保護法に基づいて実施している。考古資料を整理、調査研究、保管していくことは、地域の貴重な文化財を保存・継承することに結びついている。						
			その他特定財源	千円															
			一般財源	千円	2,493	4,358	6,105	5,194	5,194										
			事業費計（A）	千円	2,493	4,358	6,105	5,194	5,194										
			所要人員（年間）	人	1.230	1.550	2.050	1.850	1.425										
			人件費概算（B）	千円	6,888	8,680	11,480	10,360	7,980										
(A) + (B)				千円	9,381	13,038	17,585	15,554	13,174										
(2)事業概要																			
事業目的	開発事業などに伴う発掘調査によって発見され、市埋蔵文化財センターに受け入れた考古資料を整理、調査研究し、市民に対してわかりやすいように活用する。																		
事業内容	開発事業に伴う分布調査、試掘調査、確認調査、本調査によって、市内で発見・出土した考古資料の整理作業や調査報告書作成、管理を行う事業である。埋蔵文化財包蔵地（遺跡）は現在、519遺跡（令和6年4月1日現在）。																		
開始経緯	埋蔵文化財の保管及び活用を適正に行うため、そして報告書が刊行されていない遺跡の整理作業や調査報告書作成を行うために開始された。																		
実施状況	10ヶ月間実施した。																		
成果	昭和59年度に発掘調査を実施したものの未洗浄の遺物が残る中原遺跡の整理作業と平成6年度に発掘調査を実施したものの未報告である夏井土光C・D遺跡の整理作業を実施した。																		
課題	特に課題はない。																		
												改革改善案							
												拡充	○	現状維持	改善	効率化	廃止終了		

令和 7 年度 事務事業マネジメントシート

作成日 令和 7 年 7 月 1 日作成

事務事業名		志布志市埋蔵文化財センター企画展示会開催事業					担当課	生涯学習課					(3)指標の推移			4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度				
							担当G	文化財管理G					活動指標（実施状況）		単位	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)				
							会計	款	項	目	備考	(実績)				(実績)	(実績)								
まちづくりプラン (基本目標)		振興計画	5	＜教育・文化＞心豊かで志あふれる人づくりと伝統・文化のまち				予算科目	1	10	1	2		ア	企画展開催数	件	2	2	2	2					
									1	10	4	6													
(個別目標)		振興計画	3	文化を守り・育み・つなげるまち				主な費目	印刷製本費・報酬等					イ											
(施策)		振興計画	2	伝統文化の保存・継承及び歴史遺産の保存・活用				対象	市民、観光客					成果指標（成果・効果）		単位	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)			
(基本目標)		総合戦略	4	魅力的で、安心して暮らせるまちをつくる				事業期間	平成25年度～ 年度（ 年間）					ア	企画展の年間入館者数	人	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500			
(施策)		総合戦略	5	観光パワーアッププロジェクト				イ																	
(1)総事業費の推移		単位	4年度 (実績・決算)		5年度 (実績・決算)		6年度 (実績・決算)		7年度 (計画・予算)		8年度 (計画・予算)		9年度 (計画・予算)		(4)評価		所管課による評価								
年間 トータル コスト	事業費	財源内訳	国県支出金	千円									有効性 評価	・市民のニーズ ・事業の効果 ・政策との整合性 ・事業を廃止の影響 ・類似事業との連携 ・公平性	郷土の文化・歴史遺産と触れ合う機会を創出することで、市民がその理解・認識を深めることができる。市外 の来館者に対して、本市の文化・歴史遺産の魅力を発信して いる。										
			その他特定財源	千円																					
			一般財源	千円	843	868	904	1,042	1,042																
	人件費	事業費計 (A)	千円	843	868	904	1,042	1,042																	
		所要人員 (年間)	人	0.700	0.700	0.700	0.700	0.700																	
		人件費概算 (B)	千円	3,920	3,920	3,920	3,920	3,920																	
(A) + (B)		千円	4,763	4,788	4,824	4,962	4,962																		
(2)事業概要															効率性 評価	企画展チラシの印刷代や土日祝日管理職員の報酬など、 必要最小限の経費で事業実施している。 例年「志布志のひな人形展」は、市観光ガイドと連携し て行っている。									
事業目的	志布志の文化・歴史遺産に関連した企画展を開催することにより、市民に郷土の歴史や文化財の大切さを 理解してもらう。本市の文化・歴史遺産の魅力を市外 の来館者に対して発信する。																								
事業内容	市埋蔵文化財センターにおいて企画展を実施する。																								
開始経緯	平成25年に志布志市埋蔵文化財センターが開館した。企画展を開催することで、郷土の文化・歴史遺産に 対する市民の理解・認識を深めることを目的とする。																								
実施状況	企画展を3回開催した。										達成度 評価	・数値目標 ・目指す状況 ・実現性 ・情勢、環境の変化 ・事業期間		目標年間入館者数を上回っていることから、郷土の文 化・歴史遺産に対する市民の理解・認識を深めることが できていると考える。市外からの入館者が多く、観光客の増 加にも貢献している。											
成果	7月23日～11月17日に「福山氏庭園開園記念 侍たちの落とし物」を、2月12日～3月9日に「第14回志 布志のひな人形展」を開催した。年度途中に鹿児島県立埋蔵文化財センターとの共催の企画展「解明進む志 布志の縄文文化展」の開催が決まり、12月4日から2月2日に開催した。																								
課題	広報活動をより強化するなどして、市内の来館者の増加に努めたい。																								
															改革 改善案	拡充		○	現状維持		改善		効率化		廃止終了

令和 7 年度 事務事業マネジメントシート

作成日 令和 7 年 7 月 1 日作成

事務事業名		市内遺跡確認調査事業（国庫補助）				担当課	生涯学習課					(3)指標の推移		4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度				
						担当G	文化財管理G					活動指標（実施状況）		単位	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)			
						予算科目	会計	款	項	目	備考			(実績)	(実績)	(実績)							
まちづくりプラン（基本目標）		振興計画体系					5	1	10	1	2		ア		発掘調査作業員延べ人数	人		32	32	40	0	0	
(個別目標)		3				文化を守り・育み・つなげるまち <th rowspan="2">主な費目</th> <td colspan="5">報酬、消耗品費、報償費</td> <th colspan="2">イ</th> <td>整理事業員延べ人数</td> <td>人</td> <td></td> <td>180</td> <td>240</td> <td>180</td> <td>180</td> <td>180</td>	主な費目	報酬、消耗品費、報償費					イ		整理事業員延べ人数	人		180	240	180	180	180	
(施策)		2						伝統文化の保存・継承及び歴史遺産の保存・活用 <td rowspan="2">対象</td> <td colspan="5">埋蔵文化財（遺跡）</td> <th colspan="2">成果指標（成果・効果）</th> <th>単位</th> <th>(目標)</th> <th>(目標)</th> <th>(目標)</th> <th>(目標)</th> <th>(目標)</th>	対象	埋蔵文化財（遺跡）					成果指標（成果・効果）		単位	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)	
(基本目標)		総合戦略				4 <td rowspan="2">魅力的で、安心して暮らせるまちをつくる</td> <td rowspan="2">事業期間</td> <td colspan="5">令和5年度～令和10年度（6年間）</td> <th colspan="2">ア</th> <td>調査成果が公表された遺跡数</td> <td>件</td> <td></td> <td>0</td> <td>9</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>1</td>	魅力的で、安心して暮らせるまちをつくる			事業期間	令和5年度～令和10年度（6年間）					ア		調査成果が公表された遺跡数	件		0	9	0
(施策)		5						観光パワーアッププロジェクト							イ								
(1)総事業費の推移		単位	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度			9年度					(4)評価		所管課による評価						
			(実績・決算)	(実績・決算)	(実績・決算)	(計画・予算)	(計画・予算)	(計画・予算)															
年間トータルコスト	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円		1,002	1,000	1,200	1,500	有効性評価	・市民のニーズ ・事業の効果 ・政策との整合性 ・事業を廃止の影響 ・類似事業との連携 ・公平性	開発行為等によって破壊される埋蔵文化財（遺跡）の発掘調査を行い記録保存することは、文化財保護法に基づいて実施している。埋蔵文化財の記録保存を行い、調査成果を公表することで、埋もれていた地域の歴史を市民に知ってもらうことにつながる。											
			その他特定財源	千円																			
			一般財源	千円		1,028	1,111	1,564	1,500														
	人件費		事業費計（A）	千円	0	2,030	2,111	2,764	3,000														
			所要人員（年間）	人		1,000	1,150	1,100	1,425														
			人件費概算（B）	千円	0	5,600	6,440	6,160	7,980														
			(A) + (B)	千円	0	7,630	8,551	8,924	10,980														
(2)事業概要																							
事業目的	ほ場整備に伴い、平成26・28年度・令和元年度に国庫補助による確認調査を実施した前畑遺跡ほか8遺跡の調査報告書を刊行して、調査成果を公表する。国指定名勝志布志麓庭園の整備事業に伴い、福山氏庭園（福山氏邸）と平山氏庭園（石峯寺跡）の確認調査を行い、整備事業に役立てるとともに、調査報告書を刊行して調査成果を公表する。											効率性評価	・事業効果向上 ・事業費削減 ・事務の効率化 ・費用対効果 ・財政負担の必要性 ・関係者との連携	国庫補助事業を活用して、市の財政負担を軽減している。									
事業内容	確認調査を実施した前畑遺跡ほか8遺跡から見つかった遺物等の整理事業を実施して、調査報告書を刊行する。福山氏邸と石峯寺跡の確認調査を実施し、整理事業を行って、調査報告書を刊行する。																						
開始経緯	ほ場整備事業に伴い前畑遺跡ほか8遺跡について、遺跡の有無や範囲・性格等の把握を行い関係機関との協議・調整のための情報を得るための確認調査を実施した。国指定名勝志布志麓庭園の整備事業に伴い、福山氏邸は増改築の有無等を、平山氏庭園（石峯寺跡）は寺院関係の遺構・遺物の有無等を確認する目的で確認調査を行うことになった。											達成度評価	・数値目標 ・目指す状況 ・実現性 ・情勢、環境の変化 ・事業期間	前畑遺跡ほか8遺跡の調査報告書は令和6年度末に、福山氏邸の調査報告書は令和8年度末に、石峯寺跡の調査報告書は令和10年度末に刊行する。									
実施状況	前畑遺跡ほか8遺跡の整理事業・報告書作成を6～2月に実施した。福山氏邸と石峯寺跡の確認調査を2月下旬～3月上旬に実施した。																						
成果	前畑遺跡ほか8遺跡は発掘調査の成果をまとめた調査報告書を刊行して、記録保存を図ることができた。福山氏邸では井戸跡を確認することができ、これまでの言い伝えを裏付ける結果となった。											改革改善案	拡充		○	現状維持		改善		効率化		廃止終了	
課題	令和10年度に石峯寺跡（平山氏庭園）の調査報告書を刊行して事業が終了する予定である。しかし、平山氏庭園の公有化の進捗状況によっては、事業計画に変更が有り得る。																						

令和 7 年度 事務事業マネジメントシート

作成日 令和 7 年 11 月 1 日作成

事務事業名		志布志市埋蔵文化財センター維持管理事業			担当課	生涯学習課					(3)指標の推移		4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度			
					担当G	文化財管理G					活動指標（実施状況）		単位	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標) (実績)		
まちづくりプラン （基本目標）		振興計画体系	5	＜教育・文化＞心豊かで志あふれる人づくりと伝統・文化のまち			予算科目	会計	款	項	目	備考	ア	管理施設	件	1 1	1 1	1 1	1 1	1 1	
（個別目標）		振興計画体系	3	文化を守り・育み・つなげるまち			主な費目	需用費・委託料等					イ								
（施策）		振興計画体系	2	伝統文化の保存・継承及び歴史遺産の保存・活用			対象	市民、観光客					成果指標（成果・効果）		単位	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標) (実績)
（基本目標）		総合戦略	4	魅力的で、安心して暮らせるまちをつくる									ア	入館者数	人	3,000 4,371	3,000 4,887	4,000 5,300	5,000	5,000	5,000
（施策）		総合戦略	5	観光パワーアッププロジェクト			事業期間	平成25 年度～ 年度（ 年間）					イ								
(1) 総事業費の推移		単位		4年度 (実績・決算)	5年度 (実績・決算)	6年度 (実績・決算)	7年度 (計画・予算)	8年度 (計画・予算)	9年度 (計画・予算)	(4) 評価		所管課による評価									
年間 トータル コスト	事業費	財源内訳	国県支出金	千円						有効性 評価	・市民のニーズ ・事業の効果 ・政策との整合性 ・事業を廃止の影響 ・類似事業との連携 ・公平性	埋蔵文化財の保存活用の拠点施設として、郷土の文化・歴史遺産の普及啓発の場として機能しており、郷土の文化・歴史遺産に対する市民の理解・認識を深めることに寄与している。市外の来館者に対して、本市の文化・歴史遺産の魅力を発信できている。									
		その他特定財源	千円																		
		一般財源	千円	895	662	946	1,456	1,016													
		事業費計 (A)	千円	895	662	946	1,456	1,016													
		所要人員 (年間)	人	0.125	0.125	0.125	0.125	0.125													
		人件費概算 (B)	千円	700	700	700	700	700													
(A) + (B)		千円	1,595	1,362	1,646	2,156	1,716		効率性 評価	・事業効果向上 ・事業費削減 ・事務の効率化 ・費用対効果 ・財政負担の必要性 ・関係者との連携	施設の維持管理に係る経費であり、事業費削減は難しいものの、節電を心掛けるなど事業費増加の抑制に努めている。										
(2) 事業概要																					
事業目的	市埋蔵文化財センターを適正に管理することで、埋蔵文化財の保存活用の拠点施設として、郷土の文化・歴史遺産の普及啓発の場として機能させる。																				
事業内容	市埋蔵文化財センターの維持管理を行う。																				
開始経緯	平成25年4月に志布志市埋蔵文化財センターが開館したことから、維持管理を行っている。																				
実施状況	機械警備やコピー機の契約締結を行い、光熱水費など各種料金の支払いを行った。浄化槽のプロア어의修繕を行った。																				
成果	適正に維持管理ができている。									改革改善案	拡充		○	現状維持	改善	効率化	廃止終了				
課題	特に課題はない。																				